

大林学区地域運営委員会（大林 LMO）について

1 大林学区地域運営委員会（大林 LMO）の概要

団体名	大林学区地域運営委員会																									
活動エリア	大林小学校区																									
小学校区の人口	1,948 人（令和 6 年 3 月末現在）																									
設立年月	令和 5 年 3 月																									
構成団体	40 団体 <table><tr><td>大林地区社会福祉協議会</td></tr><tr><td>大林地区連合自治会</td></tr><tr><td>大林学区悦寿会</td></tr><tr><td>大林学区自主防災会連合会</td></tr><tr><td>大林地区公衆衛生推進協議会</td></tr><tr><td>一般財団法人大林愛林会</td></tr><tr><td>大林学区防犯組合連合会</td></tr><tr><td>大林地区青少年健全育成連絡協議会</td></tr><tr><td>三入地区民生委員・児童委員協議会大林地区代表</td></tr><tr><td>大林学区体育協会</td></tr><tr><td>安佐北交通安全協会 大林支部</td></tr><tr><td>広島市立大林小学校</td></tr><tr><td>広島市立大林小学校PTA</td></tr><tr><td>大林学区子ども会育成協議会</td></tr><tr><td>単位自治会（16地区）</td></tr><tr><td>大林地区文化事業実行委員会</td></tr><tr><td>一般社団法人 ふるさと楽舎</td></tr><tr><td>大林間伐材再生研究会</td></tr><tr><td>トーホー株式会社</td></tr><tr><td>株式会社タマダ</td></tr><tr><td>東洋電装株式会社</td></tr><tr><td>株式会社 金本商会</td></tr><tr><td>山崎製パン株式会社</td></tr><tr><td>公益財団法人広島市文化財団 三入公民館</td></tr><tr><td>大林集会所運営委員会</td></tr></table>	大林地区社会福祉協議会	大林地区連合自治会	大林学区悦寿会	大林学区自主防災会連合会	大林地区公衆衛生推進協議会	一般財団法人大林愛林会	大林学区防犯組合連合会	大林地区青少年健全育成連絡協議会	三入地区民生委員・児童委員協議会大林地区代表	大林学区体育協会	安佐北交通安全協会 大林支部	広島市立大林小学校	広島市立大林小学校PTA	大林学区子ども会育成協議会	単位自治会（16地区）	大林地区文化事業実行委員会	一般社団法人 ふるさと楽舎	大林間伐材再生研究会	トーホー株式会社	株式会社タマダ	東洋電装株式会社	株式会社 金本商会	山崎製パン株式会社	公益財団法人広島市文化財団 三入公民館	大林集会所運営委員会
大林地区社会福祉協議会																										
大林地区連合自治会																										
大林学区悦寿会																										
大林学区自主防災会連合会																										
大林地区公衆衛生推進協議会																										
一般財団法人大林愛林会																										
大林学区防犯組合連合会																										
大林地区青少年健全育成連絡協議会																										
三入地区民生委員・児童委員協議会大林地区代表																										
大林学区体育協会																										
安佐北交通安全協会 大林支部																										
広島市立大林小学校																										
広島市立大林小学校PTA																										
大林学区子ども会育成協議会																										
単位自治会（16地区）																										
大林地区文化事業実行委員会																										
一般社団法人 ふるさと楽舎																										
大林間伐材再生研究会																										
トーホー株式会社																										
株式会社タマダ																										
東洋電装株式会社																										
株式会社 金本商会																										
山崎製パン株式会社																										
公益財団法人広島市文化財団 三入公民館																										
大林集会所運営委員会																										

2 大林学区地域運営委員会（大林LMO）の令和6年度を取組

番号	取組 1	取組 2	取組 3	取組 4	取組 5	取組 6
事業名	大林夏祭りのタベ (中世ロマン熊谷踊り)	大林木と食の里祭り	大林の森林資源を活かした 里山整備	自主防災マップ作成・防災 訓練実施	子育て世代向けコミュニティ スペース「瑠璃苑」の設置運営	大林小学校鮎放流
実施時期	8月11日	11月23日	～令和7年1月31日	7月14日～	6月1日～	5月22日
実施場所	大林小学校グラウンド	トーホー(株)広島工場	大林中ノ谷山の神周辺	大林小学校	トーホー(株)広島工場内	大林小学校裏手根の谷川
参加予定数	2,500人	3,500人	50人	300人	200人	80人
主催団体等	大林地区文化事業実行委員会	大林学区地域運営委員会 (関連団体:大林間伐材再生委員 会、トーホー(株))	大林学区地域運営委員会 (関連団体:大林愛林会、 (株)タマダ)	大林学区自主防災会連合会	大林学区地域運営委員会 (関連団体：トーホー(株))	大林学区地域運営委員会
取組内容	踊り継ぐ後継者がおらず約90 年前に完全に廃れてしまった地域 固有の伝統行事である「熊谷踊 り」を平成25年に復活させ、 「大林盆踊りのタベ」で披露し、 「熊谷踊り」の保存・継続を図 る。	間伐材をキーワードとした祭り を開催し、里の恵みをたくさん の方と共有・体感し、その魅力を守 り続けるとともに、トーホー(株) 主催のオープンファクトリーと同 時開催する事で、より多くの来訪 者に大林ブランドを紹介できる機 会をつくる。	里山再生に向けた取組の一環と して、(株)タマダの指導の下、広 葉樹を中心に20本程度を植栽 し、有害獣対策として防護ネット を設置し、生育状況の調査等を実 施する。	防災士の講演会を開催し、防災 意識の更なる向上を図るととも に、家庭で備蓄する物品まとめた パンフを全世帯に配布すること で、災害の恐ろしさ、避難のタイ ミングや近年多発する洪水、地震 に対する家庭での備えの大切さの 再認識を図る。	令和5年度に実施した全世帯ア ンケート結果を受け、若者世代の 関心の高かった交流施設をトーホ ー(株)と共同で運営し、フリース ペースでの保健師相談会やワーク ショップ、アウトドア体験、屋外 の遊び体験や花見等の屋外イベン トなどを実施する。	小学生に鮎の生態を学んでもら うことと、放流を通じて子供たち に川の環境、放流の大切さを知っ てもらい、川離れが進んでいる今 日において、川に親しむ気持ちを 養ってもらう。
効果等	・準備・練習段階から、小学生の 参加を勧奨することで、若者を 取り込んだ練習体制を確立し、 地域の伝統文化の継承を図る。 ・6月から練習を開始し、PTA関 連の父兄、小中学生の参加を募 り練習を開始する事で、地域で の連帯意識の醸成や地域活動の 担い手の確保を図る。	・間伐材を活用する体験を通じ て、里山保全が温暖化防止と防 災に繋がることを伝える。 ・子どもたちに、里山を守る技を 伝え、里山を想うところをつむ ぐ。 ・市民や企業の枠を越えて多様な 世代が集まり、人と人、人と 里、人と山の関わりをつむぐ。 ・地域住民はもとより、可部地区 の団体、近隣企業との更なる連 携の輪が広がる。 ・子育て世代の参加者が増えるこ とにより、地域に興味や愛着を 持つ若い世代が増え、将来発展 への更なる期待が持てる。	・樹種ゆたかな森を目指すと共に、試験的に杉、桧、榊等を植 栽し、鹿・ウサギの食害を調査 し、将来の皆伐・植林に向けて のデータの集積等を行う。 ・樹種豊かな環境を提供できれ ば、子どもたちも興味を持ち始 め、森林資源を活かした地域の 活性化にも期待ができる。 ・今後、里山再生が進めば、土砂 災害や有害鳥獣による農作物・ 人への被害の防止にもつなが る。	・防災訓練、講演会を開催する事 で、防災意識の向上が図れる。 ・大林小学校も防災について学習 しているため、家族ぐるみで講 演会に参加してもらい情報を共 有することで、防災意識の向上 が期待できる。	・子育て世代等の若い世代の孤立 を防ぐため、交流・寛ぎ・情報 共有の場を提供する。 ・若い世代が地域活動に参加する きっかけをつくる。	・LMOとして協力する事によ り、小学校と地域の一体化を図 ることができる。 ・小学校の父兄に対しても、地域 の協力の重要性を理解してもら うことができる。 ・地域の行事として定着を図り、 小学校との連携の輪がひろが る。 ・小学生を通じて、親の世代にも 地域との協力の大切さを感じて もらう契機となる。 ・子どもたちも環境保全に目を向 けるようになり、川を守る気持 ちが高まる。